

かていがくしゅう てび 家庭学習の手引き

かていがくしゅう 家庭学習のすすめ

がくりよく み つ じぶん しょうらい かのうせい ゆた
学力をしっかりと身に付けることは、自分の将来の可能性を豊かにします。そ
のためには、まいにちがくしゅう しゅうかん たいせつ かてい がくしゅう あ まえ
のためには、毎日学習をする習慣づくりが大切です。家庭での学習が当たり前
になるようにしていきましょう。がくねん すす しんがく
学年が進むごとに、そして進学するごとに、
かていがくしゅう せい か あらわ
家庭学習の成果がはっきりと表れてきます。



かていがくしゅう 家庭学習とは？

かてい がくしゅう
家庭で学習するすべてのことです。大きく2つに分けられます。

- ① 宿題…学校（塾など）から与えられる課題
 - ② 自主学習…自分で「必要だ」「やってみたい」と思う課題を決めてする学習
- ※この手引きは自主学習の方法を示しています。

保護者の皆様へ

学習習慣を確立させるには、家庭での「見届け」「声かけ」が不可欠です。

そこで、学習の仕方を具体的に示す手引きを作成しました。
共有の話題としてご活用いただき、家族のふれあいのなかで、
家庭学習が定着していきますようご協力をお願いします。

【学習の基盤は、規則正しい生活から】

- 早寝・早起き・朝ごはん
- 学習時間を確保してからテレビ・ゲームの時間を決める
- 次の日の準備を自分でする



①まず…

- ・宿題をしましょう。
- ・学校の連絡を伝えましょう。
- ・学習の準備をしましょう。



- 学習する場を整頓する
- 学習物を用意する
- 鉛筆をけずる

②学習の時間を決めま

しょう ⇒ _____ 分

めやす…学年×10+10分

(例)1年生…20分、2年生…30分

3年生なら3×10+10=40分

6年生は少なくとも70分

※宿題に取り組む時間も入れます。

③学習を始めましょう！

◎学習の例を示します。「今の自分に必要だ」「楽しそうだからしてみたい」など、自分で選んで学習しましょう。はじめは、なれた漢字練習などから取り組み、なれてきたら自主的な学習へとステップアップをはかりましょう。

宿題

- ・宿題があれば、はじめに取り組みます。
- ・時間内におわるようがんばりましょう。(宿題だけで決めた時間をすぎてもかまいません。)
- ・宿題をおえたら、自主学習を進めましょう。



音読

- ・スラスラと読める簡単な文章をたくさん読みましょう。
- ・覚えるまで繰り返し読みましょう。
- ・国語の教科書だけでなく、他の教科書や図書でも力がつきます。
- ・家の人に聞いてもらいましょう。

かんじれんしゅう 漢字練習

- ・熟語で練習しましょう。
「学」→「学ぶ」「学習」「学校」
- ・筆順を正しく、ていねいに書きましょう。
- ・ふりがなもつけましょう。
- ・正しくかけているか自分で確かめましょう。

けいさんれんしゅう 計算練習

- ・かけ算九九は繰り返し練習しましょう。(インドの小学生は 20×20 まで覚えます。 $11 \times 11 = 121$ 、 $11 \times 12 = 132$ など。挑戦してみませんか。)
- ・答え合わせと直しまでしましょう。
- ・数直線や図形のかき方もしっかりと身に付けましょう。

ドリルも使えますね

もんだいしゅう 問題集やプリント

- ・蓮田南小ホームページの家庭学習コーナーを活用してください。
 - ①東部教育事務所・学力向上ワークシート
 - ②ライズeライブラリ「家庭学習サービス」
→ID登録が必要です。保護者の方が利用希望を担任に申し出てください。
- ・市販の問題集やプリントでも学習できます。

自分らしさを高めて

じゅうけんきゅう 自由研究

- ・興味関心のあることを続けて調べまともましょう。
- ・将棋や囲碁、百人一首などの知的活動、自然や生き物とのふれあいによる体験など幅広く学習の機会をもちましょう。
- ・ニュース番組や新聞から世の中のできごとを知りましょう。
- ・インターネットの活用も有効です。上手に使いましょう。

レベルアップしていくなら

ふくしゅう 復習

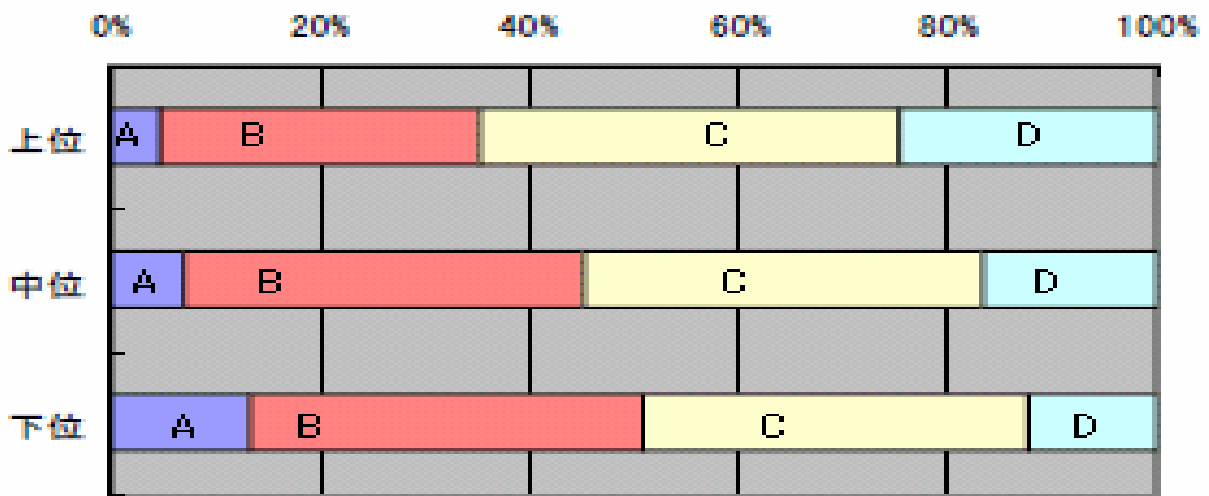
- ・授業のノートを写し直す。
(内容を色分けしてまとめるなど)
- ・用語を国語辞典などで調べる。
(調べたところに付せんをつけておきましょう。学習の積み重ねが見えてきます。)
- ・関連問題を解く。など、学年が進むにつれて重要になる家庭学習です。



資料

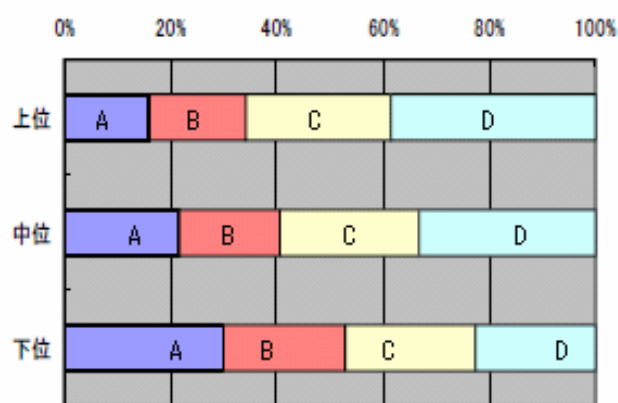
くに ちゅうおうきょういくしんぎかい
 国の中央教育審議会でも
 せいせきなど かい
 成績等が下位になるほど、かていがくしゅう
 家庭学習を「ほとんどしない」わりあい ふ がっこうだんかい あ
 割合が増え、学校段階が上がる
 につれ、家庭学習をするもの としないものにぶんか けいこう
 二分化する傾向がある。と示されています。

図 8-1 平日における家庭での学習時間(小学生)



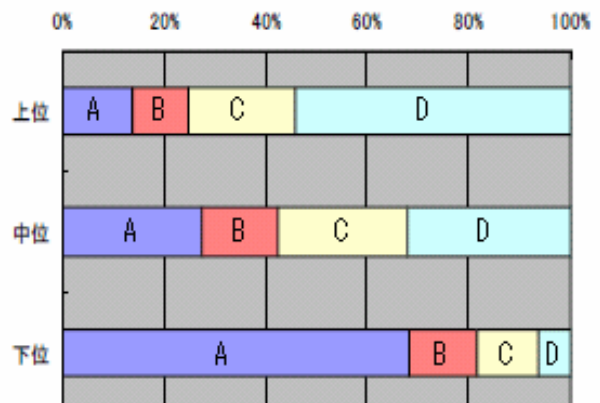
【成績】 A ■ ほとんどしない B ■ 15分+30分くらい
 C ■ 45分+1時間くらい D ■ 1時間30分くらい以上

図 8-2 平日における家庭での学習時間(中学生)



【成績】 A ■ ほとんどしない B ■ 15分+30分くらい
 C ■ 45分+1時間くらい D ■ 1時間30分くらい以上

図 8-3 平日における家庭での学習時間(高校生)



【成績】 A ■ ほとんどしない B ■ 15分+30分くらい
 C ■ 45分+1時間くらい D ■ 1時間30分くらい以上

※成績(小・中学生)は、国語・算数(数学)・理科・社会・英語(中学生)の自己評価の合計点によって三区区分し、高校については偏差値によって三区区分したもの。

ベネッセ教育研究開発センター『子ども生活実態基本調査報告書』(平成17年)